

山 口 新 聞

平成 29 年 2 月 24 日 (金)

NO.238



農地・水環境 守ろう地域の手に



238

当地域は長門市西部のJ 91号南側に広がる未整備
R人丸駅にほど近い国道1 の水田単作地帯で、重粘土

農を守り、原風景を継承する！

大迫資源環境保全会 (長門市)

上 水路の草刈り
下 総会の様子



質でおいしいお米を産出すること知られている。「豊穰農耕」(トヨトクノノリ)「大地の恵み」への畏敬の念は強く、野辺にある水神、荒神、庚申の神々は住民によって手厚く祭られている。村祭りのしめ縄作りは共同作業として、その伝統と技術を今に守り継いでいる。当会は「農業を守り豊かで美しい農村風景を維持していきたい」との思いで、2013年に設立された。資源の保全管理として、農地のり面や道水路の草刈り、水路の泥上げ、そして

老朽化している水路の補修などを実施している。

しかし、増加する野生鳥獣被害には頭を悩ませており、少子高齢化や後継者不足は深刻さを増しつつ、村の風景を周辺部から徐々に変え始めている。

農村の文化、環境、コミニティーの中に本来の豊かさを見いだせるのか。寄り合いでは「農地維持に基盤整備が必要」との意見が出される中、「総論賛成、各論反対」と村の方向性はまだまだ定まっていない。村の未来のため、未来のひとのため、話し合いを進めて、食と農および農村の原風景を守ってほしい。

(会長、岡村和夫)

|| 金曜日掲載 ||

【メモ】会長 || 岡村和夫
▽ 会員 || 32人、農家 (30戸)、非農家、大迫自治会
▽ 設立 || 2013年4月1日
▽ 連絡先 || 長門市油谷新別名7-1-1、岡村和夫さん、電話0837-32-0175